

平成23年度高校生ものづくりコンテスト山形県大会 木材加工部門

山形県立鶴岡工業高等学校
事務局 柴田 和彦

1 はじめに

木材加工部門大会は第6回を数え、今年も山形県立職業能力開発専門学校を会場として実施された。実行委員会は、県内建築系学科を設置している6校により選出された委員によって運営された。

2 大会概要

1) 大会期日及び会場

平成23年6月18日(土)

山形県立職業能力開発専門学校 1年実習棟

2) 参加校

山形工業高等学校、山形電波工業高等学校、米沢工業高等学校、長井工業高等学校、新庄神室産業高等学校、鶴岡工業高等学校、以上6校より2名ずつ、計12名が参加した。

3) 課題

第11回ものづくりコンテスト全国大会と同等の小屋組みの課題を、支給されたスギ材と指定された工具を使用して、2時間45分の競技時間内で完成させる。制限時間は、全国大会が2時間30分であることと、未完成のまま終わってしまう選手もいることも予想されることを考慮した。

4) 実行委員会

山形県立職業能力開発専門学校や山形県建築組合員、そして、各校の実行委員の方々の多大な協力の元、1回だけの実行委員会で運営できた。

5) 審査

山形県立職業能力開発専門学校主任指導員、大泉昇先生に審査委員長を依頼し、競技運営や審査について指導いただいた。審査員の構成は、山形県立職業能力開発専門学校教員4名、山形県建築組合員2名の計6名であった。

県大会は、審査項目が細分化され、時間を要する

ことも予測されたが、事前準備よろしく大会当日は、スムーズに運営できた。

3 大会結果

競技課題は、小屋梁が水平な陸梁となったことや、垂木勾配が4寸と5寸勾配による当日抽選となったことが、昨年度からの変更点であった。

最も短いタイムは、2時間20分27秒、最も遅かったタイムは、2時間56分52秒であった。全体では、12名中10名が完成することができた。道具の準備、加工技術、整理・整頓そして掃除にいたるまで、見事な「匠の技」を披露してくれた生徒が多かった。

成績上位者は、以下のとおりである。

優勝 山形工業高校 白田 陽介 君
(以上1名東北大会へ出場)

準優勝 長井工業高校 新井 優太 君
第3位 山形電波工業高校 鈴木 将大 君



出場者と作品

4 おわりに

垂木勾配の審査委員長による抽選を当日行った結果、5寸勾配となり皆が安堵した。本大会運営に関して、山形県立職業能力開発専門学校の全面的な御協力に感謝致します。